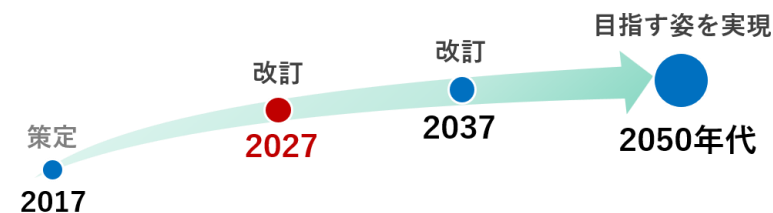


東京の自然公園ビジョンの改訂

- 東京の自然公園ビジョン：自然公園の魅力を拡充し、豊かな自然を守り、国内外にその素晴らしさを伝えるため2017(平成29)年に策定（計画期間：30年）
- 今般、策定から10年における社会状況の変化と課題を反映させ改訂



自然公園の目指す姿

- 自然環境の保護と適正な利用を基礎として、3つの目指す姿を引き続き設定

目指す姿Ⅰ 育む

～多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園～

目指す姿Ⅱ 営む

～人と自然の関係をとりもつ自然公園～

目指す姿Ⅲ 活かす

～誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園～



これまでの主な取組

育む

- ・ 草原植生回復調査（秩父多摩甲斐国立公園等）
- ・ 植生回復（小笠原国立公園）やオガサワラカワラヒワ等の希少種保全
- ・ デジタル版野生生物目録「東京いきもの台帳」作成の取組
- ・ 多摩地域における野生動物対策のための植生保護柵の設置 など

営む

- ・ 島しょ地域を中心とした東京都版エコツーリズム
- ・ 山のふるさと村等の宿泊施設における体験プログラムを実施
- ・ 地域などと連携した地域の名人と小中学生との交流 など

活かす

- ・ 海のふるさと村等における利用者ニーズを把握した施設改修
- ・ QRコードによる標識の多言語化やトイレの洋式化
- ・ 民間企業と連携した自然公園利用ルールの普及啓発 など

自然公園に関わる社会状況の変化と課題

- ・ 生物多様性の取組（希少種保全や外来種対策等）
- ・ 野生動物（シカ・キョン・クマ等）対策の強化
- ・ 少子高齢化等を踏まえた担い手確保の重要性
- ・ 利用形態の多様化や老朽化に対応した施設整備
- ・ インクルーシブに対応した取組の強化
- ・ インバウンド増加等に対応した魅力向上

など

東京の自然公園ビジョン（改訂版）

第1章 東京の自然公園とは？

- 自然公園の概要について、自然公園を知らない人や子供などにも分かりやすく説明
自然公園の種類、自然を守るための仕組み、東京の自然公園の概要、自然公園で活躍する人々

第2章 東京の自然公園ビジョン

- 自然公園の制度や、ビジョンの目的や改訂の背景を説明
東京の自然公園の現状と制度、東京の自然公園ビジョン、3つの目指す姿、これまでの取組状況、社会状況の変化や課題

第3章 次の10年における施策展開

- 第2章を踏まえ、次の10年に取り組む施策展開を明示
目指す姿（育む・営む・活かす）を実現するための方向性、今後優先的に実施するリーディングプロジェクト
⇒次頁以降に詳細を記載

第4章 公園ごとの施策展開

- 第3章の施策展開を踏まえ、公園ごとに整理
公園ごとの現状と課題・目指す姿・リーディングプロジェクト

【公園ごとの主なリーディングプロジェクト】

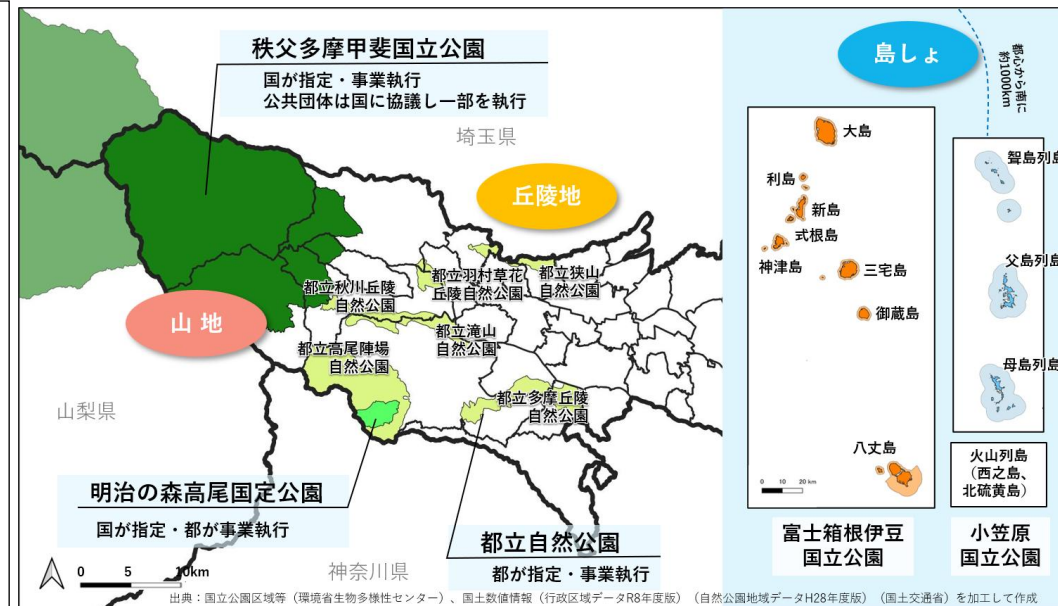
秩父多摩甲斐国立公園 明治の森高尾国定公園	・植生保護柵の計画的設置 ・宿泊施設での体験プログラム拡充 ・自然公園施設における安全の確保 など
富士箱根伊豆国立公園 小笠原国立公園	・大島でのキョン防除対策の強化 ・小笠原での外来種防除の推進 ・エコツーリズムの推進 など
都立自然公園	・関係機関と連携した森林の再生 ・ショートトレイルへのリニューアル ・丘陵地における自然体験機会の提供 など



小笠原国立公園



明治の森高尾国定公園



第3章 次の10年における施策展開

目指す姿Ⅰ 育む ～多様性と連続性が織りなす自然環境を育む自然公園～

目指す姿を実現するための方向性		リーディングプロジェクト一覧			
①	自然環境の状況を的確に把握し、情報を収集・分析	①	野生生物目録「東京いきもの台帳」の作成推進	③	自然環境情報の発信及び連携強化
		②	東京都自然環境デジタルミュージアムとの連携		
②	希少種保全や植生回復、外来種対策などによる、自然環境の保全・再生	①	シカ等の調査及び植生保護柵の計画的設置	⑧	水源地における民有林の再生
		②	大島におけるキョン防除対策の強化	⑨	地元自治体と連携した民有林再生の推進
		③	小笠原諸島における外来種防除の推進	⑩	健全な森林育成による林業振興
		④	自然公園の適正利用の推進	⑪	丘陵地における自然環境保全の推進
		⑤	関係機関と連携した希少種保全の推進	⑫	東京都版エコツーリズムの推進
		⑥	関係機関と連携した外来種対策	⑬	地域が主体となるエコツーリズムの支援
		⑦	ナラ枯れ対策の強化		
③	地域や地元自治体等と目標を共有し、良好な自然環境や景観を保全	①	地域と連携した自然公園の管理運営	③	関係機関と連携した森林の再生
		②	地元自治体と連携した民有林再生の推進（再掲）		
④	関係機関との事業の連携による、自然環境の保全	①	保護上重要な生態系に着目した計画等の見直し	④	自然環境の価値の発信
		②	民有地の緑の保全・確保	⑤	市町村と連携した取組の推進
		③	計画区域の見直し及び自然資源の保全		

第3章 次の10年における施策展開

目指す姿Ⅱ 営む ～人と自然の関係をとりもつ自然公園～

目指す姿を実現するための方向性		リーディングプロジェクト一覧			
①	地域の暮らしと自然のつながりを再生し、地域の魅力や活力を引き出す	①	地域の魅力発信と賑わい創出	④	多摩産材の活用促進
		②	ビクターセンター等での特産品販売	⑤	持続可能な水産資源の利用
		③	東京都自然環境デジタルミュージアムとの連携（再掲）		
②	人の営みと自然環境との関係性を実感できる取組の推進	①	丘陵地における自然体験の機会の提供	③	ショートトレイルへのリニューアル
		②	宿泊施設における体験プログラムの拡充		
③	地域における営みを支え、自然環境保全の担い手となる人材の育成や支援	①	東京都版エコツーリズムの推進（再掲）	④	関係機関と連携した森林の再生（再掲）
		②	地域が主体となるエコツーリズムの支援(再掲)	⑤	ボランティア活動の支援及び体制強化
		③	担い手育成のための仕組みづくり	⑥	市町村と連携した取組の推進（再掲）

第3章 次の10年における施策展開

目指す姿Ⅲ 活かす ～誰もが訪れ、誰もが関われ、誰からも理解される自然公園～

目指す姿を実現するための方向性		リーディングプロジェクト一覧			
①	安全・安心・快適な利用環境の確保により、多くの人が訪れやすい観光資源として活用	①	大規模施設の計画的な更新	⑥	宿泊施設におけるデジタル化の推進
		②	ユニバーサルデザイン等に配慮した施設整備	⑦	利用者ニーズを的確に把握した施設整備
		③	自然公園施設における安全の確保	⑧	A I 等を活用した利用者の安全確保
		④	インクルーシブに対応したプログラムの充実	⑨	利用実態調査の実施
		⑤	アクセシブルな情報の発信		
②	東京の豊かな自然の魅力や価値を多くの人に伝える	①	ビクターセンター等の展示の充実	③	魅力が伝わる情報発信環境の整備
		②	東京都自然環境デジタルミュージアム（再掲）	④	東京都版エコツーリズムの推進（再掲）
③	自然公園内及び自然公園間の回遊性を向上	①	ショートトレイルへのリニューアル（再掲）	③	A I 等を活用した利便性の向上
		②	ロングトレイルの普及啓発	④	島しょ部へのアクセス向上
④	民間事業者やボランティア等多様な主体と連携	①	関係機関と連携した安全利用の促進	⑤	担い手育成のための仕組みづくり（再掲）
		②	ボランティア活動の支援及び体制強化（再掲）	⑥	自然公園利用者層の拡大
		③	民間活力の導入の拡大	⑦	イベント連携による魅力発信と地域の活性化
		④	関係機関と連携した森林の再生（再掲）		